

グローバル・ヴィレッジ(GV) 2023 年活動報告

2023 年は、前年にスタートしたバングラデシュの 2 つのプロジェクトを継続支援しました。ひとつめの、女性のエンパワメントを目指す研修プログラムは、2023 年 8 月に当初の計画を終了。もうひとつの、ピープルツリーのフェアトレード生産者パートナーである「タナパラ・スワローズ」の小学校の継続を支援するプロジェクトは、1 月にプレスクールを開校し、生徒数も徐々に増え、翌年以降も継続できることになりました。

啓発活動では、「フェアトレードの学校」をピープルツリー自由が丘店でのリアル開催と同時配信のハイブリッドやアーカイブ配信で実施するなど、幅広く参加いただける工夫をしました。また、フェアトレードやオーガニックの認証制度について専門家をゲストに招いて解説するなど、内容の充実をはかりました。

【収入・支出状況】

(会計年度1月1日～12月31日)	(単位:円)	
	2022	2023
収入の部	2,704,999	1,499,423
会費収入	815,000	790,000
寄付金収入	1,338,249	297,278
啓発活動収入	551,750	412,145
支出の部	2,802,103	2,164,382
情報発信	194,208	203,666
啓発活動費	300,745	324,491
プロジェクト支援	1,762,588	1,101,102
活動費小計	2,257,541	1,629,259
人件費	228,000	228,000
家賃・水道光熱費	228,000	228,000
手数料	42,876	36,426
その他事務所諸経費	45,686	42,697
事務所経費小計	544,562	535,123
当期収支	▲ 97,104	▲ 664,959
前期繰越	826,696	729,592
次期繰越	729,592	64,633

2023 年は新たなクラウドファンディングを実施せず、前年、前々年に寄せられた資金でプロジェクトの支援を継続したため、単年度では支出が収入を大幅に上回りました。

収入の部は 149 万円で、クラウドファンディングを実施した前年に比べて寄付金収入が 29 万円と大きく減少しています。会費収入は 79 万円、「フェアトレードの学校」の参加費や講演の講師料などによる啓発活動収入は 41 万円で、いずれも前年よりやや減少しました。

支出の部は 216 万円で、プロジェクト支援費の 110 万円には、タナパラ・スワローズへの支援金の継続や、前年の年末から 2023 年 1 月にかけて行ったバングラデシュ訪問費用が含まれます。事務所経費は 53 万円で、ほぼ横ばいでした。

この結果、当期単年では 66 万円の損失を計上し、6 万円を次年度に繰り越しました。

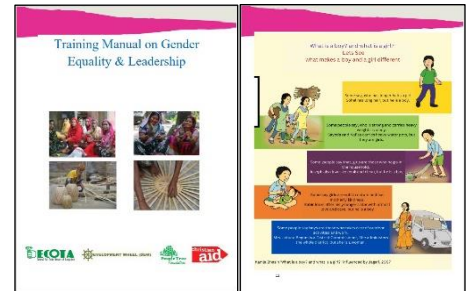
【活動報告】

1. 生産者支援活動

1) 女性のエンパワメント研修

バングラデシュのフェアトレードの生産現場で、性差別のない、女性がリーダーシップを発揮できる環境の実現を目指して行われた研修プロジェクトの実施マニュアルが、ベンガル語と英語で作成されました。

2022 年 10 月に研修を受けた 6 つのフェアトレード団体の 26 名の教育係が、2023 年 3 月～8 月にそれぞれの団体に経験をもち帰って研修を行いました。



研修マニュアル英語版の表紙と内容の一部

このプロジェクトを主導したバングラデシュのフェアトレード団体ネットワーク「ECOTA」は、メンバー団体や NGO、一般企業も招いた啓発セミナーを 2024 年 3 月に開催するなど、ノウハウを幅広く共有し女性のエンパワメント活動を継続・発展させていきます。

※このプロジェクトへの支援金 8,000 ドルは 2021 年に支出され、2023 年の支出には含まれません

2) タナパラ・スワローズ学校の継続支援

コロナ禍での資金難と政府の政策の影響を受けて 2022 年末に 40 年余りの歴史の幕を閉じたタナパラ・スワローズの小学校は、2023 年 1 月から未就学時のプレスクールとして再出発しました。開校当初 32 名だった児童数は 53 名まで増え、2024 年 1 月の新学期からは 10 名が小学生になりました。

小学生クラスとプレスクールクラスは、午前と午後の 2 部制で 3 名の教師が教えています。



2 代目校長に就任し、教科も教えるソジブ・ラーマンさん(中央)

この学校を継続的に支えるため、2024 年度の運営費の一部として 3,000 ドルの支援金を約束しました。

《送金(予定)額》 42 万 5 千円

3) フェアトレードパートナー等のプロジェクトを支援

●タラ・プロジェクト(インド)

アクセサリーを手掛けるタラ・プロジェクトが運営する2つの教育プロジェクトに、引き続き支援金を送りました。ひとつは貧困家庭の子ども達を対象に公立学校の授業の補習を行う教育センター、もうひとつは若い女性が縫製技術を身に付けるための、デリー郊外のスラム地区にある研修センターです。

《送金額》 47万9千円

※上記はジュエリーブランド「RUKUS by yasuihiro tomita」と「Nina Victoria's Accessories and Design」および「未来シフト」よりご寄付いただいた29万円、およびピープルツリーのアクセサリーの売上に応じた寄付18万9千円の合計額で、GVの支出に含まれません。



(左) アグラの教育センターで教材を受け取る生徒
(右) 縫製訓練を受ける女性

●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS) (ネパール)

手編みのニット製品を生産するKTSが運営する児童養護施設を支援するため、2017年からKTSのファッションアイテム1点につき100円を寄付してきましたが、残念ながらコロナ禍以来の資金難により養護施設の閉鎖が決まり、児童たちは別の施設や親戚宅に移りました。

これに伴い、寄付プロジェクトは2023年9月末日をもって終了しました。期日までの寄付金は、KTSの他の社会的プロジェクトに役立ててもらおうよう送金予定です。

《送金(予定)額》 37万6千円

●バングラデシュ衣料産業労働者連盟(NGWF)

縫製工場等で働く女性たちの地位向上を目指すNGWFに対し、毎年定額で1,000ドルを送り女性リーダー養成講座の費用を助成しています。また、4月にダッカの商業施設で起きた火災事故により仕事を失った衣料品店の従業員への緊急支援のため、「ファッションレボリューション・デー」の映画上映イベントの収益から600ドルを追加して送金しました。

《送金額》 21万6千円

2. 啓発活動

1) 世界的なキャンペーンとの連動

4月はファッションの背景を考える「ファッションレボリューション・デー」に合わせ、バングラデシュの縫製工場で働く女性たちが過酷な労働環境を改善するために奮闘する映画『メイド・イン・バングラデシュ』のオンライン上映会とトークを開催しました。

また、フェアトレード月間の5月には、日本サステナブル・ラベル協会の山口真奈美さん、フェアトレード・ラベル・ジャパンの潮崎真惟子さんをお招きして認証制度について解説し、フェアトレードの仕組みと意義を広く伝えました。



(左) 『メイド・イン・バングラデシュ』の公式サイトより
(右) 5月のトークにて、山口真奈美さん(中央)、潮崎真惟子さん(右)と

2) フェアトレードの学校

6月の「児童労働反対世界デー」、7月の「プラスチックフリー・ジュライ」、9月の「オーガニック・セブテンバー」などのテーマに沿ってゲストを招き、幅広いテーマで8回開催しました。うち2回は、自由が丘店でのリアル開催とオンラインの同時配信、4回はリアル開催のものを後日アーカイブ配信し、より多くの方に気軽に参加いただける工夫をしました。

3) 講師派遣・インタビュー等 11件

- ・学校 8件(大学1/高校2/中学校4/小学校1)
- ・市民団体等 2件
- ・メディア 1件

10月の朝日新聞主催の「朝日地球会議」にピープルツリー社長のジェームズ・ミニが登壇し、地球温暖化を止める活動としてフェアトレードを紹介しました。

4) フェアトレード普及活動の支援

開発教育協会(DEAR)の制作チームの一員として関わった、持続可能なファッションを考えるワークショップの教材『服・ファッション アクティビティ集』(2022年3月発行)が、2023年消費者教育教材資料表彰「消費者庁長官賞」を受賞しました。

【2024年活動計画】

バングラデシュの女性のエンパワメントをさらに定着させるためのECOTAの活動を引き続きフォローすると共に、タナパラ・スワローズの学校運営の支援を継続します。また、DEARの教材を活用したワークショップや出前授業にも力を入れてまいります。

以上